

工法の概要

当協会は、会員相互の研鑽により、以下の技術をもって橋梁のリニューアル工事を行い橋梁の性能・向上・維持とコスト低減を図り公共工事に積極的に貢献してまいります。

※現在予定されている工法案です

1. 柱状サンプル採取法による診断

劣化・損傷した橋梁コンクリート床版およびコンクリート部材の内部損傷の診断において、本協会が推奨する「小径コア採取による診断」に関する技術および品質の向上、知見の確保を図る。

2. アスファルト舗装における常温合材を用いたポットホール補修技術

劣化・損傷した橋梁コンクリート床版アスファルト舗装に発生するポットホールの補修を本協会が推奨する舗装材料を用いた施工法に関する技術、品質及び知識の確保・向上を図る。

3. 橋梁床版・コンクリート部材の圧力調整注入工法によるひび割れ補修技術

劣化・損傷した橋梁床版・コンクリート部材のひび割れ補修に本協会が推奨する圧力調整注入工法（SAPIS）による補修技術、品質及び知識の確保・向上を図る。

4. 鋼・コンクリート橋の炭素繊維シート・アラミド繊維シートを用いた補修・補強技術

劣化・損傷した鋼・コンクリート橋の構造体を本協会が推奨するトウシート・ストランドシート材料を用いた補強法の技術、品質及び知識の確保・向上を図る。

5. 接着剤塗布型超速硬モルタルを用いた部分・全面補修工法（EQM施工）

劣化・損傷した橋梁床版を本協会が推奨するEQM材料を用いてEQM工法に関する補修・補強技芸品質及び知識の確保・向上を図る。

6. グリッドメタル筋を用いたEQM上面・下面増厚補強

劣化・損傷した橋梁床版のグリッドメタル筋（グリッド筋）を配置した上面・下面増厚補強法に関する技術、品質及び知識の確保・向上を図る。



7. グリッドメタル筋を用いた溝橋（ボックスカルバート）のEQM-G-K補強工法

劣化・損傷した溝橋（ボックスカルバート）および同等の構造体を本協会が推奨する材料をも用いた増厚補強法の技術、品質及び知識の確保・向上を図る。

8. グリッドメタル筋を配置したEQMコンクリート舗装

劣化・損傷したRC橋・PC橋、PCスラブ橋のグリッド筋を配置したEQMコンクリート舗装を本協会が推奨するグリッド筋、EQM材料を用いた補強法の技術、品質及び知識の確保・向上を図る。

9. 取替リニューアル床版の製作・施工技術

劣化・損傷した床版支間が車両進行方向と直角および支間が車両進行方向と平行な取替リニューアル床版の製作・設置工法に関する技術、品質及び知識の確保・向上を図る。

10. 誘導板付き鋼製伸縮装置と弾性体伸縮装置の合成伸縮装置

劣化・損傷した各種伸縮装置を本協会が推奨する誘導板付き荷重分布型伸縮装置および衝撃吸収型弾性体・鋼製・コンクリートとの合成伸縮装置を本推奨する材料・構造により製作・設置工法に関する技術、品質及び知識の確保・向上を図る。

11. コネまる（建築用マルチ通信BOX）の利用

コネまる（Multi-connect：マルチ通信機）は、親機・子機・通信ケーブルで構成されている。携帯通信と衛星通信（Starlink）の2種類のいずれかの電波を受信できる場所に親機を設置し、有線や無線により、200m間隔で設置する子機から半径100m範囲で、Wi-Fi通信を可能にする装置・通信システムです。

